

2023年5月 | 学長室 IR チーム



立命館アジア太平洋大学
卒業時アンケート
基礎集計報告書 2022 年度

目次

調査の概要	2
調査の目的	2
調査の対象	2
調査の方法	2
調査の期間	2
主な調査項目	2
回収の状況	2
回答状況	3
成長・身についた能力に関すること	3
在学中のこと	5
APU に対する満足度	6
卒業後の進路について	6

調査の概要

調査の目的

卒業生の卒業時時点における成長実感や大学生活への満足度を調査するとともに、英語運用能力や進路に関する状況を調査し、学生の実態を把握することで、教育成果の検証を行うとともに課題に関する現状把握を行い、改善活動に繋げる。

調査の対象

2022年度（2022年9月、2023年3月）
に卒業した学部学生 1,132人

調査の方法

インターネットによるオンライン調査（記名）

Summary

Survey	Domestic / International		総計
	Domestic	Internatio..	
卒業時2209	63/96	242/361	305/457
卒業時2303	283/493	136/182	419/675
総計	346/589	378/543	724/1,132

調査の期間

2022年9月卒業生：2022年9月 2023年3月卒業生：2023年3月

主な調査項目

- ① 成長に関すること（成長実感）
- ② 身についたコンピテンシー
- ③ 言語運用能力
- ④ 在学中の人間関係（他国籍の友人の数）
- ⑤ 海外渡航景観
- ⑥ 大学に対する帰属意識、満足度
- ⑦ 卒業後の進路について
- ⑧ 進路に対する満足度

回収の状況

対象者 1,132人に対し調査を実施し、
724人より回答を得た（回答率 64%）

学部別の内訳と国内学生、国際学生の
内訳は右のとおり。回答者の属性による大
きな偏りは見られない。

回答者の属性（国内/国際）



回答者の属性（学部）



回答状況

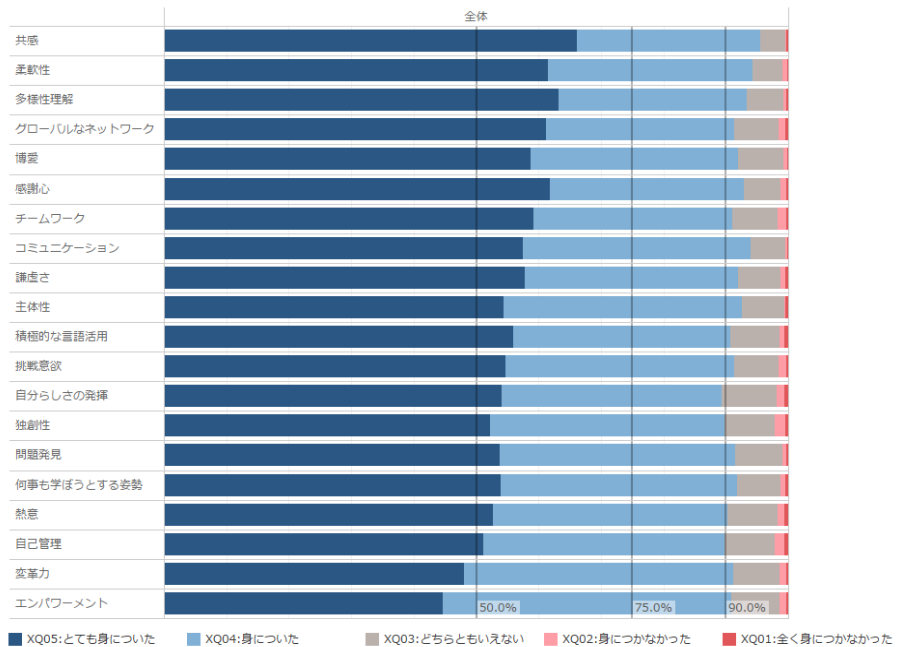
成長・身についた能力に関すること

身についたコンピテンシー

APUでの学生生活で身についた資質・能力についてAPU Rubricの20のコンピテンシーに沿って「とても身についた」から「全く身につかなかった」の5件法で質問した結果を以下に示す。すべてのコンピテンシーにおいて肯定意見が約90%を超えている。最も肯定意見が多かったコンピテンシーは「共感」「柔軟性」「多様性理解」で「共感」については66.2%が「とても身についた」と回答している。

＜コンピテンシー＞APUでの学生生活を通じて現在までに以下に示すような資質・能力をどのくらい身につけることができたと思いますか？

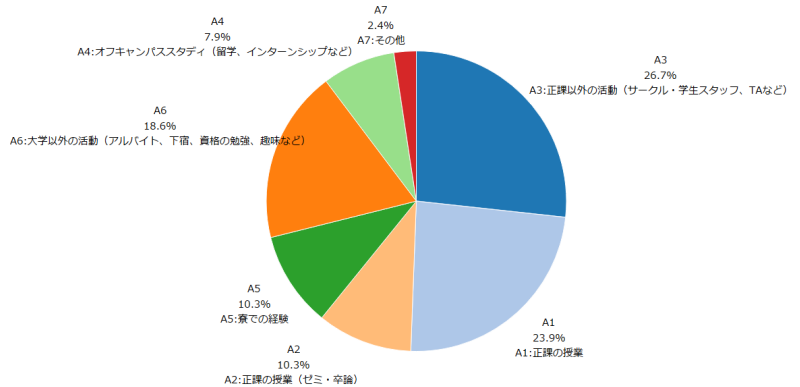
集計カテゴリ
全体



成長実感を得た経験

成長実感を得た経験について、「学生生活を通してあなたが最も成長実感を得た経験は何ですか？」という質問を行い、正課と正課外、また大学以外の活動等の選択肢を提示した結果を以下に示す。（複数選択不可）。

正課外の活動（サークル・学生スタッフ）が26.7%、正課の授業が23.9%でこの二つを合わせると約50%、さらに正課の授業（ゼミ・卒論）10.3%と寮での経験（10.3%）を合計すると、約70%となっており、多くの学生がキャンパス内における経験を通して成長を実感している。



言語運用能力

AP言語を含めた言語の運用能力に関する質問を行った結果を以下に示す。国内学生の英語運用力は「日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話ができる」と「日常的な事柄なら、議論に参加できる」を合わせた、「日常生活レベル」と答えた学生が約80%、「専門分野に関する事柄を英語で議論できる」と答えた学生は15%であった。

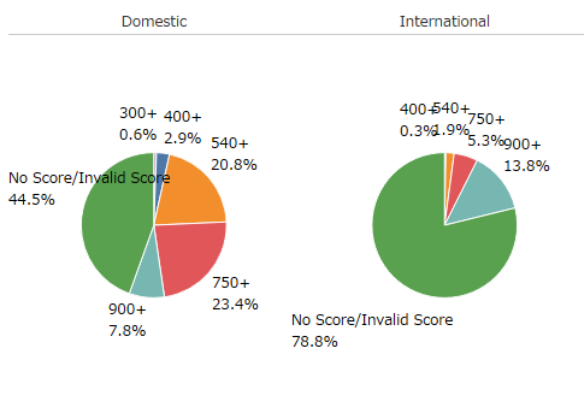
国際学生の日本語運用能力は、「日常生活レベル」と答えた学生は約 55%、「専門分野に関する事柄を日本語で議論できる」と答えた学生は 38.4%であった。

AP 言語は国内学生、国際学生ともに最も運用能力を身に付けた学生が多い言語は韓国語、ついで中国語となっている。

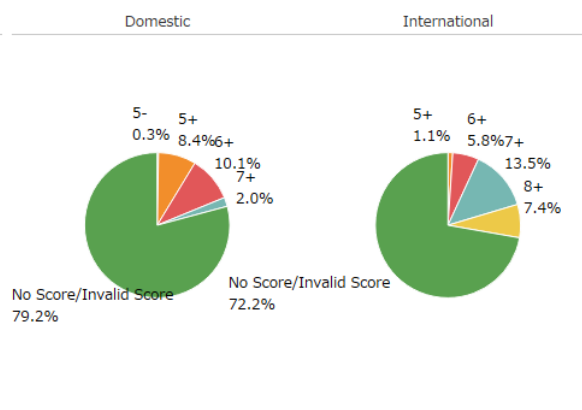
英語スコア

保有している英語スコアについて質問した結果を以下に示す。国内学生のうち、TOEIC-IP のスコアを保有している学生は 55.5%、IELTS は 20.8%となっている。

TOEIC-IP(10-990)(グラフ)

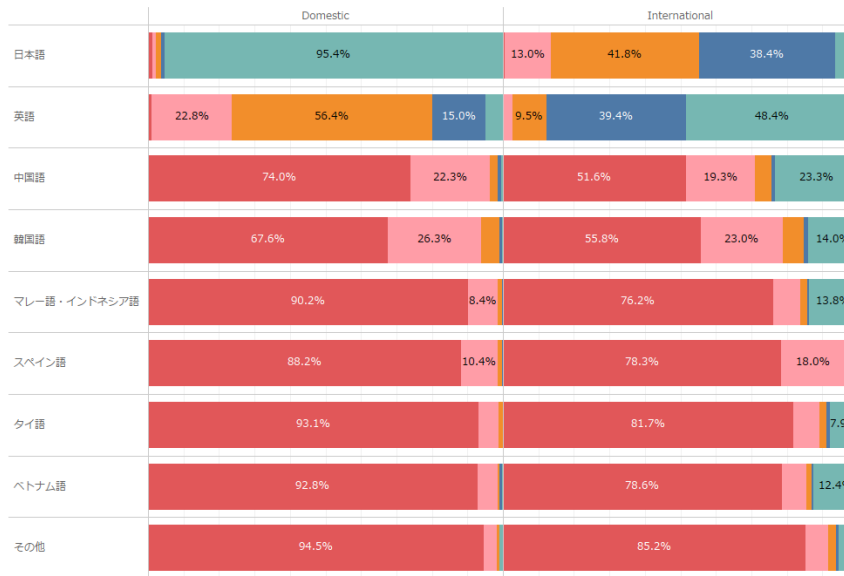


IELTS(1-9)(グラフ)



■ A01:この言語は使用しない
 ■ A03:日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話ができるレベル
 ■ A04:日常的な事柄なら、議論に参加できるレベル
 ■ A05:専門分野に関する事柄なら、議論に参加できるレベル
 ■ A07:母語または母語レベル
 集計カテゴリ
 国内国際別

<使用できる言語> あなたはどの言語を使用することができますか? 当てはまるレベルをえらんでください。



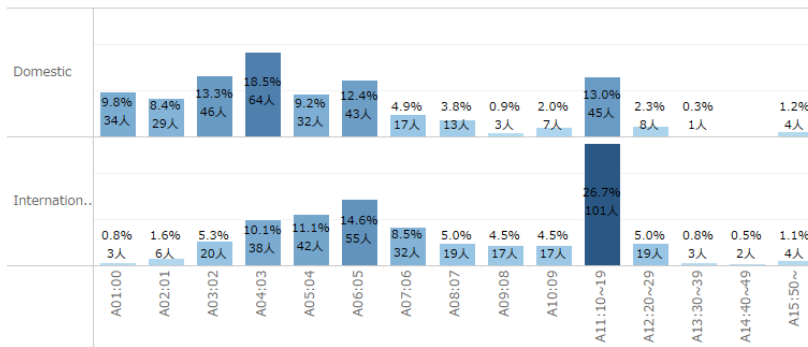
在学中のこと

他国籍の友人関係

他国籍の友人関係を「趣味や遊びを一緒にすることができる友人」の数と、その友人の国籍数に分けて質問した。国内学生は平均約 6 か国 11 人の友人がいると回答し、国際学生は約 9.6 か国、22 人の友人がいると回答した。一方、国内学生の中には、多国籍の友人が 0 人と答えた学生が 10% (35 人) いた。

<友人の国籍数> APU在学中の「趣味や遊びを一緒にすることができる」他国籍の友人について答えてください。(国籍数)

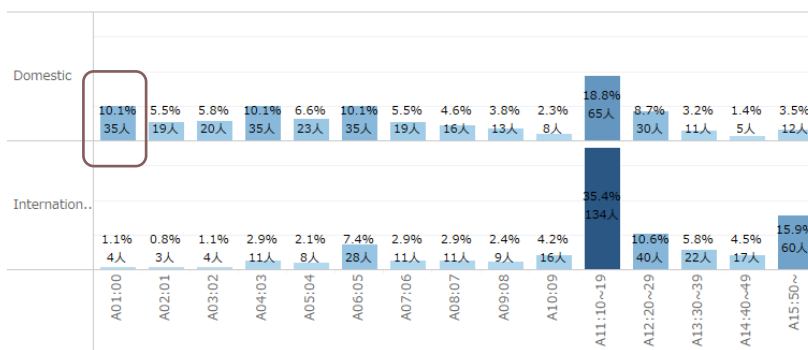
集計カテゴリ
国内国際別



<友人の国籍数平均>

	平均	中央値
Domestic	5.97	3.50
Internation..	9.58	6.00

<友人の数> APU在学中の「趣味や遊びを一緒にすることができる」他国籍の友人について答えてください。(友人の数)



<友人数平均>

	平均	中央値
Domestic	11	6
Internation..	22	15

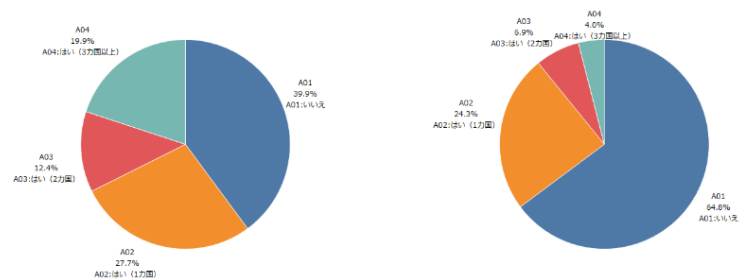
海外渡航について

<海外渡航> APU在学中、大学が提供するプログラム以外で海外への渡航経験はありますか。(休学期間中や休職中等)

休学や休暇中に海外渡航の経験があるかどうかについて質問した結果を以下に示す。

2022年度の卒業生は、2年次、3年次がコロナ禍（2020年春～2021年秋）にあたり、海外制限下にあつたため海外渡航の機会を得ることができなかったことが影響している。海外渡航経験のない国内学生の割合は2020年3月卒業生（21.6%）と比較し約2倍の約40%に上昇している。

Domestic International



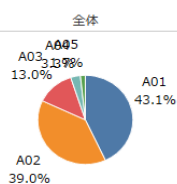
APU に対する満足度

大学への満足度を、「他者に APU を勧めるか（他者への推奨）」、「APU への帰属意識」、「APU を卒業したことに対する誇り」の 3 つに分けて質問した結果を以下に示す。いずれも肯定的意見が 80% を超えている。（「他者への推奨」82.1%、「帰属意識」80.1%、「誇り」84.9%）。これはコロナ禍以前（2019 年度卒業生）と比較して 3 ポイントから 9 ポイント上昇している。

肯定意見割合	2019年度卒業生	2022年度卒業生
他者にAPUを勧めるか	73%	82%
APUへの帰属意識	77%	80%
APUを卒業したことに対する誇り	78%	85%

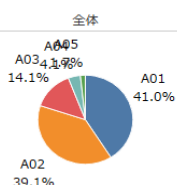
<大学の推奨> APUの環境を活用できそうな知人や後輩（APU生以外）に、APU入学をどの程度勧めたいと思いますか？ あなたの気持ちとして近いものをひとつ選んでください。

集計カテゴリ
全体



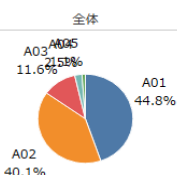
■ A01: 勧めたいと思う
■ A02: ある程度勧めたい
■ A03: どちらとも言えない
■ A04: あまり勧めたいと思わない
■ A05: 勧めたいと思わない

<帰属意識> 現在、APUの一員になったと感じていますか？



■ A01: 強く感じている
■ A02: 感じている
■ A03: どちらとも言えない
■ A04: 感じていない
■ A05: まったく感じていない

<誇り> 現時点で、APUに在籍していることをどの程度誇りに思いますか？ あなたの気持ちに近いものをひとつ選んでください。



■ A01: 誇りに思う
■ A02: ある程度誇りに思う
■ A03: どちらとも言えない
■ A04: あまり誇りに思わない
■ A05: 誇りに思わない

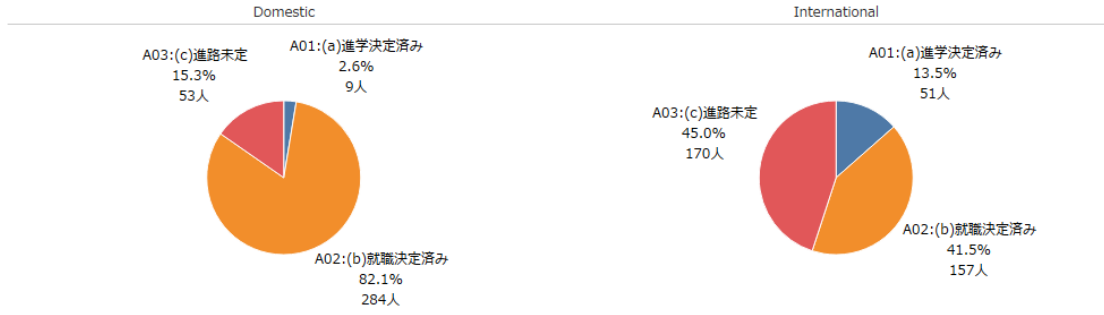
卒業後の進路について

卒業後の進路について

卒業後の進路について質問した結果を以下に示す。国内学生の就職時の進路決定率 84.7%（進学 2.6%、就職 82.1%）に対し、国際学生は 55%（進学 13.5%、就職 41.5%）に留まり、45%は未定のまま卒業している。進路未定の国際学生の内訳は、日本での就職活動を継続する学生が 34.1%、日本以外の国で就職活動を継続する学生が 47.1%、進学準備をする学生が 18.8%となっている。大学院進学を選択する学生（決定者と受験予定者）は合わせて 101 名で卒業生全体の 14%となっている。

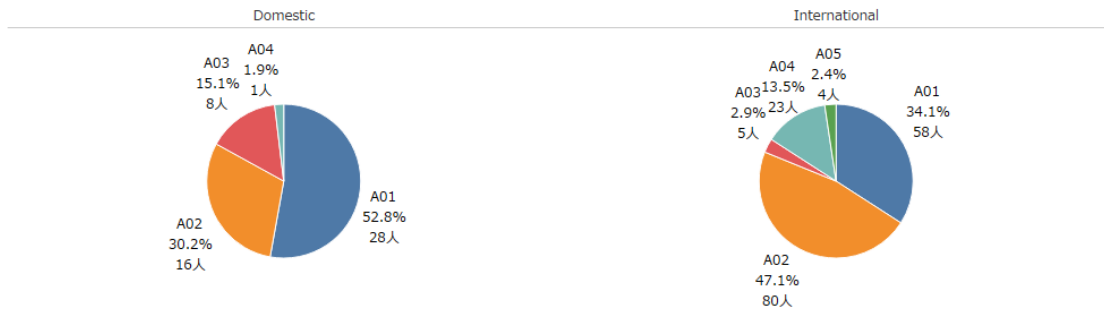
■ A01:(a)進学決定済み ■ A02:(b)就職決定済み ■ A03:(c)進路未定 集計カテゴリ 国内国際別

<就職決定率> あなたの進路に関して



■ A01:在学中に日本での就職活動をし、日本での就職活動継続.. ■ A04:日本以外の大学院などに進学受験中
 ■ A02:卒業後に日本以外の国で就職活動予定 ■ A05:日本と日本以外、両方の大学院などに進学受験中
 ■ A03:日本の大学院などに進学受験中

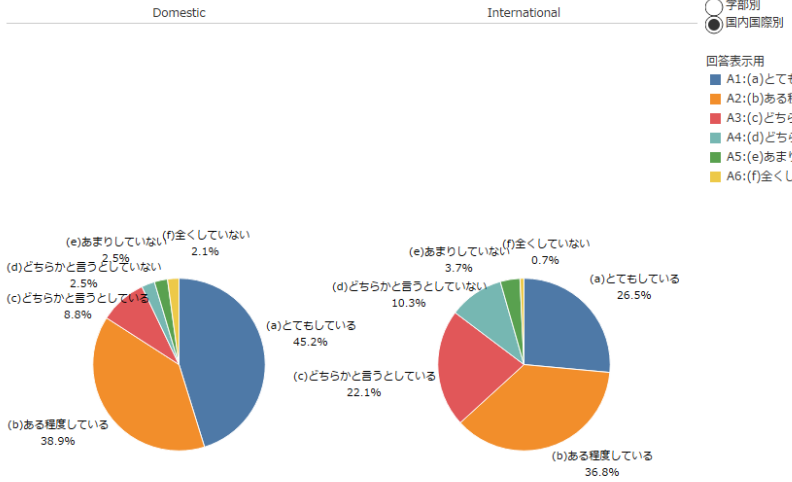
<進路未決定者> 進路未決定の方へ今後の予定をご記入ください。



進路に対する満足度

進路に対する満足度を質問した結果を以下に示す。肯定意見（「とても満足している」、「ある程度満足している」、「どちらかというとしている」）は90.4%。国際学生の肯定意見は85.4%で国内学生（92.9%）に比べると7.5ポイント低い。

卒業後の進路に納得していますか。



集計カテゴリ

○ 全体
○ 学部別
● 国内国際別

回答表示用

■ A1:(a)とても満足している
 ■ A2:(b)ある程度満足している
 ■ A3:(c)どちらかと言うとしている
 ■ A4:(d)どちらかと言うどしていない
 ■ A5:(e)あまりしていない
 ■ A6:(f)全くしていない